



30周年記念によせて

東京都計量検定所長

奥秋 彰一

(2002年9月25日現在)

このたびは、東京都計量器コンサルタント協会創立30周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

計量器コンサルタント協会の皆様には、区市町村で開催される消費生活展での家庭用計量器の精度確認事業におきまして、常々大変お世話になっております。計量思想の普及と適正計量の推進のため、土・日曜日の貴重な時間を裂き、ボランティアとしてご協力下さいます皆様の取組みに、厚く御礼申し上げます。

さて、計量器を取り巻くこの30年間の動きは大きなものがありました。ちょうど30年前には計量法が改正され、商業用電気式はかりの検定が始まりました。機械式はかりが中心だった時代から技術革新が進み、デジタル化し多機能で、精度の高いはかりが数多く生産されるようになりました。はかりの多くが生産者から販売者を通じて利用者に届けられる仕組みのなかで、利用者のニーズに合った適切なはかりを供給できるよう、皆様が良き相談相手として活動を始めたことは、正しい計量を推進していくうえでも非常に意義深いものであったと理解しております。

また、この30年間、常に適正計量の実施に向け、計量の現場に於いて積極的に活動されてこられました皆様の取組みは、高く評価されるものと思っております。これからも引き続き、適正計量の推進に更なるご尽力を下さいますようお願い申し上げます。創立30周年のお祝いのご挨拶とさせていただきます。